



Title	浜渦辰二さんの退職記念号刊行にあたって
Author(s)	堀江, 剛
Citation	メタフュシカ. 2018, 49
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/71236">https://hdl.handle.net/11094/71236</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 浜渦辰二さんの退職記念号刊行にあたって

浜渦辰二さん（「先生」と呼ぶのは臨床哲学研究室で勤めている慣行に従って、あえて避ける）は、2008年に大阪大学大学院文学研究科教授に着任、2018年3月をもって退職された。このたび、浜渦さんのこれまでの指導に感謝し、その業績を記念するため、『メタフシカ』第49号を退職記念号として出版する。

本号の論文で、冒頭の8本は浜渦さんの下で指導を受けた修了生によるものである。いずれも優れた論考で、浜渦さんの指導の賜物と言える。

浜渦さんのこれまでの研究を含む業績については、後の「研究業績一覧」および「功績覚書」に示す通りである。フッサール（特に間主観性）の研究と臨床哲学（特にケアをめぐる諸問題）、この「二足のわらじ」で研究・教育活動を展開してこられた。また大阪大学に着任されてからは、研究推進室の副室長・室長、全学の公開講座委員、国際連携室連携推進部門チーフなど大学運営も精力的に仕事をこなし、さらに2014年に同僚の中岡成文さんが退職されてからは、コースオーガナイザーとして臨床哲学研究室の運営・維持を一手に引き受けてこられた。

いずれの方面においても、そのパワフルかつ緻密な仕事ぶりには驚嘆せざるをえず、後進の私たちに与えた恩恵は計り知れない。ここに深く感謝するとともに、今後も私たちとの関わりを願う次第である。長い間、ありがとうございました。

堀江 剛